



# 鶏けいめい鳴

〒221-0864

横浜市神奈川区菅田町2851

(電話 045-473-7191)

## 聖書の言葉

### 「いかに幸いなことか」

聖書(詩編第1編1節)

牧師 河合裕志

聖書の中で「詩編」は全部で150編あり聖書の中に収められている66の文書では最もボリュームのあるもの。詩編は聖書の中の「旧約聖書」に載っている。詩編にはダビデ王の作品なども見られるがほとんどは読み人知らず、作者は不明。紀元前200年頃までには最終の編纂がなされ今の姿になったと言われている。

聖書の中の「新約聖書」には詩編からの引用が多く78回にも及ぶ。イエスも詩編をよく読んでいてその話の中に詩編が出てくる。詩編は古今東西、多くの人々によって読まれ愛誦されて来ている。

この詩編の巻頭を飾るのがこの第1編。これはあとに続く詩編の入口、導入にふさわしく、詩編全体の思いを示しているよう。実際にどんなことが歌われているのか、最初の3節までを少々長いけれどここに引用。「いかに幸いなことか。神に逆らう者の計らいに従って歩まず、罪ある者の道にとどまらず、傲慢な者と共に座らず、主の教えを愛し、その教えを昼も夜も口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。ときが巡り来れば実を結び、葉もしおれることがない。その人のすることはすべて、繁栄をもたらす」。

ここには幸いな人というのは、①まず「神に逆らう者の計らいによって歩まず」といった者だよと言う。「一寸やばい

話だけれど、うまい金もうけの計画がある。一緒にやらないか」。こんな悪の誘いにはのらない。この世には人を破滅に導く様々な誘惑の種があるから要注意。神に喜ばれる正しい道を選択して歩むこと。

②次に幸いな人は「主の教えを愛する」者だよ、と。主(神)の教えは聖書の全体に載っている。これはしかしあまりに大部。その中の「十戒」なら「教え」の要点が十にまとめられわかりやすい。イエスは更に二つにまとめてくれた。「心をつくして神を愛せよ」と「自分を愛するように隣人を愛せよ」。こうした神の教えを愛する人は幸いだよ、と。

以上①と②を覚えて歩む人は「流れのほとりに植えられた木」のようだ。実を結び、葉もしおれず、繁栄をもたらすことになるよ、と言う。ロス・チャイルドといったユダヤ人富豪が思われる。彼は詩編第1編を覚えて巨万の富を手にしたのか。そこまで至らなくても①②の下にコツコツと努力して働けば多少の富は得られるのでは。またこの「繁栄」には心の方面の豊かさも含むのだろう。それは人の事を思いやる事が出来るといった豊かさ。

#### 集会案内

日曜礼拝：午前10時15分、日曜夕拝：午後6時

子どもの教会：日曜日午前9時

中高青年会：日曜日礼拝後

聖書を学び祈る会：水曜日午前6時、午前10時、午後7時

お話し会、(面談)：水曜日午後1時~7時